

(様式1) 補助金等シート
(1) 補助内容

消防課-1
令和8年度予算用

1	名称 (予算事業名)	消防施設等整備事業費補助金										
		予算事業名	消防水利等整備費									
		予算事業コード	00774									
2	交付開始年度	昭和	45	年度	創設から	57	年度目	3	終期	令和	9	年度
4	分類	事業費補助					5	所属	消防課			
6	根拠法令	鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱										
7	事業の目的・概要	災害に対応できる施設・水利を整備することにより、地域防災力の向上を目的とする。										
8	補助対象者	自治会及び消防分団										
	交付先(補助対象者と異なる場合)											
9	補助金額等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)		
				市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他					
		R5年度決算額	2,594	914	0	0	1,680	35.2%	0	0.0%		
		R6年度決算額	3,208	1,308	0	0	1,900	40.8%	0	0.0%		
		R7年度当初予算額 R8年度予算要求額	2,650 2,650	1,000 1,000	0 0	0 0	1,650 1,650	37.7% 37.7%				
10	補助対象事業費の内訳(具体的に記載)	令和8年度 ☆自治会消防用ホース収納箱(補助金額:所要経費の3分の1の額) 650千円(令和4年度から令和6年度の実績値を平均して換算) ☆防火水槽改修及び市長が認める消防施設(補助金額:所要費用の2分の1の額) 350千円										
	補助金等の算出根拠(具体的に記載)	鈴鹿市消防施設等整備事業費補助金交付事務処理マニュアル										
	増減理由	自治会等の要望に基づいて年次計画的に整備しているため増減が発生する。										

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	20	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5	災害時における地域防災体制の充実・強化に繋がる。		
		(減点) 0			
	公平性	5	鈴鹿市全域を対象としているため公平性がある。		
	効果性	5	【評価の理由】 災害時における地域消防力を確保するために非常に効果がある。		
【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況(具体的に記載)】 地域の消防力を維持・確保するために不可欠な要素であり、市が消防責任を果たすために十分な効果がある。 また、地域住民が初期消火活動を行うことで被害を軽減できる。					
透明性	5	鈴鹿市補助金等交付規則及び鈴鹿市補助金等交付要綱に基づいている。			
	(減点) 0				

(3) 終期延長の理由(終期を延長した初年度のみ記入)

前回終期 令和 年度

--